



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 オーエム製作所
コード番号 6213 URL <http://www.omltd.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山村 英司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画管理部長 (氏名) 佐脇 祐二

TEL 06-6350-1200

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	5,728	△31.0	723	△56.2	707	△57.8	405	△56.1
22年3月期第3四半期	8,305	△31.5	1,651	△41.3	1,677	△40.3	924	△44.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	12.81	—
22年3月期第3四半期	29.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	16,641	11,813	71.0	374.18
22年3月期	16,640	11,806	71.0	371.77

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 11,813百万円 22年3月期 11,806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	△19.5	1,460	△31.0	1,450	△32.3	880	△17.6	27.81

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 33,200,000株 22年3月期 33,200,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 1,629,512株 22年3月期 1,441,676株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 31,664,185株 22年3月期3Q 31,760,137株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

2. 「配当の状況」における平成23年3月期（予想）の無配予想につきましては、本日平成23年2月4日に公表させていただきましたが、「ダイワボウホールディングス株式会社による当社普通株式に対する公開買付けに関する意見表明について」及び「平成23年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国を始めとする好調な新興国の経済成長により輸出量の増加や、政府による経済対策による個人の駆込需要の効果もあり、景気は緩やかな回復が見られますが、円高や雇用情勢の悪化により、依然先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは第4次中期経営計画の初年度にあたり、中期計画の柱である海外事業の促進へ積極的に取り組みました。平成22年7月には、台湾にTAIWAN O-M CO., LTD を設立し、立型旋盤において新興国に向けた低価格汎用機の海外委託生産を始めております。22年12月には初号機が完成し、中国を始めとするアジア地域の現地ディーラーを、当社長岡工場（新潟県）へ招待しプライベートショーを開催し拡販に努めました。

また、今後も原子力関連など需要の見込まれる超大型立型旋盤の製造に向けて、長岡工場において、120トン重量物の吊り上げを可能にする天井クレーンの新設と床の補強工事にも取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高5,728百万円（前年同四半期比31.0%減）、営業利益723百万円（前年同四半期比56.2%減）、経常利益707百万円（前年同四半期比57.8%減）、四半期純利益405百万円（前年同四半期比56.1%減）となりました。

【一般機械の製造販売事業】

一般機械の製造販売事業につきましては、一部業界に受注回復の兆しが見えますものの、企業の設備投資意欲は依然慎重であります。そのような環境下でエネルギーや鉄道、航空機業界のインフラ産業向けに立型旋盤の拡販に取り組みました。また、食品、薬品業界へは、省エネの自動包装機械の拡販に取り組みました。

この結果、売上高は、4,796百万円、営業利益は、692百万円となりました。

【鋳造品の製造販売事業】

鋳造品の製造販売事業につきましては、工作機械業界を中心に受注は回復傾向にありますが、原材料価格の上昇もあり依然厳しい状況のため、固定費の削減や生産効率の改善に努めました。

この結果、売上高は、710百万円、営業利益は、54百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、16,641百万円となり、前連結会計年度末と同程度の水準となっております。主に売上債権が減少した一方、仕掛品が増加しております。

負債は、4,828百万円となり、前連結会計年度末と比べ5百万円減少しております。主に、棚卸資産の増加により、支払手形及び買掛金が増加した一方、繰入期間に応じた賞与引当金が減少したことによりです。

純資産は、11,813百万円となり、自己資本比率は71.0%と前連結会計年度末と同程度となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は5,493百万円となり、前連結会計年度末と比較して178百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、977百万円の収入超過となりました。主に、税金等調整前四半期純利益の計上及び売上債権を回収したことによりです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、422百万円の支出超過となりました。主に、有形固定資産を取得したことによりです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、376百万円の支出超過となりました。主に、配当金の支払をしたことによりです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年10月13日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表した数値に変更はありません。

なお、本日平成23年2月4日に公表いたしましたダイワボウホールディングス株式会社による当社株券に対する公開買付けは、平成23年3月22日の買付期間最終日までの申し込み状況により確定するため、現時点では、連結業績予想を判断する上では考慮していません。

また、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

但し、当第3四半期連結累計期間において、オーエムエンジニアリング(株)の事業は、当社へ移管し業務を集約しております。尚、オーエムエンジニアリング(株)は現在、休眠会社であります。

また、当社が販売する立型旋盤の一部を生産委託するTAIWAN O-M CO., LTDを新たに設立し、連結子会社としております。尚、TAIWAN O-M CO., LTDは特定子会社に該当していません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

固定資産の減価償却の算定方法は、年間の償却予定額を期間按分して計上しております。

(特有の会計処理)

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、年度末までに解消されるため、当該原価差異は流動負債(その他)として繰り延べております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,946	6,768
受取手形及び売掛金	2,481	3,634
商品及び製品	181	176
仕掛品	1,911	958
原材料及び貯蔵品	71	60
その他	470	457
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	12,051	12,044
固定資産		
有形固定資産	3,150	3,066
無形固定資産	40	46
投資その他の資産		
投資有価証券	510	579
その他	888	917
貸倒引当金	△0	△14
投資その他の資産合計	1,398	1,482
固定資産合計	4,589	4,596
資産合計	16,641	16,640
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,782	1,396
短期借入金	1,765	1,765
未払法人税等	36	22
賞与引当金	119	273
製品保証引当金	73	103
その他	815	1,026
流動負債合計	4,592	4,586
固定負債		
退職給付引当金	181	131
役員退職慰労引当金	27	48
その他	26	67
固定負債合計	235	247
負債合計	4,828	4,833

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,660	1,660
資本剰余金	301	301
利益剰余金	10,290	10,202
自己株式	△522	△475
株主資本合計	11,730	11,688
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	86	120
為替換算調整勘定	△3	△2
評価・換算差額等合計	83	118
純資産合計	11,813	11,806
負債純資産合計	16,641	16,640

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	8,305	5,728
売上原価	5,150	3,703
売上総利益	3,154	2,024
販売費及び一般管理費	1,503	1,301
営業利益	1,651	723
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	11	10
補助金収入	26	—
その他	26	9
営業外収益合計	66	22
営業外費用		
支払利息	21	21
その他	18	16
営業外費用合計	39	38
経常利益	1,677	707
特別利益		
固定資産売却益	11	—
関係会社株式売却益	—	6
特別利益合計	11	6
特別損失		
事業構造改善費用	84	—
60周年記念費用	14	—
ゴルフ会員権評価損	—	4
その他	1	—
特別損失合計	100	4
税金等調整前四半期純利益	1,589	709
法人税、住民税及び事業税	431	118
法人税等調整額	233	185
法人税等合計	664	304
少数株主損益調整前四半期純利益	—	405
四半期純利益	924	405

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,589	709
減価償却費	351	449
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△13
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△253	△154
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	21	△30
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1	19
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△24	△21
受取利息及び受取配当金	△13	△12
支払利息	21	21
為替差損益 (△は益)	△0	△0
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△11	3
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△6
売上債権の増減額 (△は増加)	1,719	1,153
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△127	△969
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,093	386
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△105	△91
その他	△8	△188
小計	2,061	1,255
利息及び配当金の受取額	13	12
利息の支払額	△21	△21
法人税等の還付額	—	31
法人税等の支払額	△1,423	△300
営業活動によるキャッシュ・フロー	629	977
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	—
有形固定資産の取得による支出	△379	△432
有形固定資産の売却による収入	15	—
無形固定資産の取得による支出	△34	△9
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
関係会社株式の売却による収入	—	19
その他	10	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△690	△422
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△10	△11
自己株式の取得による支出	△0	△47
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△475	△317
財務活動によるキャッシュ・フロー	△486	△376
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△546	178
現金及び現金同等物の期首残高	5,401	5,315
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,854	5,493

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	一般機械の 製造販売事 業 (百万円)	鋳造品の製 造販売事業 (百万円)	その他の事 業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,584	512	207	8,305	—	8,305
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	421	9	430	(430)	—
計	7,584	934	217	8,736	(430)	8,305
営業利益又は営業損失(△)	1,734	△107	10	1,637	13	1,651

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	アジア	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	192	669	3	0	866
II 連結売上高(百万円)					8,305
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	2.3	8.1	0.0	0.0	10.4

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、生産設備に関する機械の製造、販売を中心に事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部及び事業会社を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「一般機械の製造販売事業」及び「鋳造品の製造販売事業」の2つを報告セグメントとしております。

「一般機械の製造販売事業」セグメントは、生産設備用の機械製品の製造販売を行っております。「鋳造品の製造販売事業」セグメントは、鋳物製品の製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額
	一般機械 の製造 販売事業	鋳造品 の製造 販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,796	710	5,507	221	5,728	—	5,728
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	486	486	5	491	△491	—
計	4,796	1,197	5,993	227	6,220	△491	5,728
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	692	54	747	△0	747	△23	723

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガソリンスタンド、ゴルフ練習場等のレジャー関連事業及び休眠会社を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。